

2022年1月20日
日本銀行大分支店



大分県内の景気動向

2022年1月公表分

本資料は当店ホームページにも掲載しています。

<https://www3.boj.or.jp/oita/index.html>



〈本件に関するお問い合わせ先〉

総務課 (TEL : 097-533-9106)

(FAX : 097-538-7085)

E-Mail : ooita@boj.or.jp

(総論)

大分県内の景気は、一部に弱さが残るものの、緩やかに持ち直している。

個人消費は、緩やかに持ち直している。この間、観光は、低めの水準ながら、緩やかに持ち直している。住宅投資は、横ばい圏内となっている。公共投資は、増加している。設備投資は、増加している。

鉱工業生産は、一部に弱めの動きがみられるものの、高めの水準で推移している。

雇用・所得面をみると、労働需給は、改善の動きがみられている。雇用者所得は、弱めの動きがみられている。

金融面では、預金・貸出金ともに増加している。この間、銀行の貸出約定平均金利は低下傾向にある。

先行きについては、新型コロナウイルス感染症の動向が、家計の消費マインドおよび企業の収益動向・資金調達環境・経営行動に与える影響などに注視していく必要がある。

＜景気動向の総括表＞

		前回 (2021年12月)	今回 (2022年1月)	前月からの 変化
総括判断		一部に弱さが残るものの、緩やかに持ち直している。	一部に弱さが残るものの、緩やかに持ち直している。	据え置き
需要項目	個人消費	緩やかに持ち直している。	緩やかに持ち直している。	据え置き
	観光	低めの水準ながら、緩やかに持ち直している。	低めの水準ながら、緩やかに持ち直している。	据え置き
	住宅投資	横ばい圏内となっている。	横ばい圏内となっている。	据え置き
	公共投資	増加している。	増加している。	据え置き
	設備投資	増加している。	増加している。	据え置き
鉱工業生産		一部に弱めの動きがみられるものの、高めの水準で推移している。	一部に弱めの動きがみられるものの、高めの水準で推移している。	据え置き
雇用・所得	労働需給	改善の動きがみられている。	改善の動きがみられている。	据え置き
	雇用者所得	弱めの動きがみられている。	弱めの動きがみられている。	据え置き

1. 個人消費

<p>個人消費</p>	<p>緩やかに持ち直している。</p> <p>—— 飲食料品の販売が底堅く推移しているほか、衣料品や服飾雑貨等にも動意がみられる。ただし、足もとでは、専門店等において新型コロナウイルス感染症の再拡大の影響がみられている。</p>
<p>観光</p>	<p>低めの水準ながら、緩やかに持ち直している。</p> <p>—— 足もとでは、新型コロナウイルス感染症の再拡大の影響がみられている。</p>

(参考)

<p>大型小売店等</p>	<p>飲食料品などの販売が底堅く推移しているほか、衣料品や服飾雑貨等にも動意がみられており、全体として持ち直している。ただし、専門店等では新型コロナウイルス感染症の再拡大の影響がみられている。</p>
<p>コンビニエンスストア</p>	<p>冷凍食品を中心に、販売は緩やかに持ち直している。</p>
<p>ドラッグストア・ホームセンター</p>	<p>日用品などを中心に、販売は高めの水準で推移している。</p>
<p>家電大型専門店</p>	<p>横ばい圏内で推移している。</p>
<p>乗用車新車販売</p>	<p>持ち直しの動きがみられている。</p>

2. 投資（住宅・公共・設備）

住宅投資	横ばい圏内となっている。
公共投資	増加している。
設備投資	<p>増加している。</p> <ul style="list-style-type: none">—— 12月短観における21年度設備投資計画をみると、前年度比+24.7%の増加計画となっている（製造業：同+32.7%、非製造業：同▲4.3%）。製造業では新製品の生産対応や能力増強投資の実施等から前年を大幅に上回る計画となっている。—— 11月の建築物着工床面積（民間非居住用）は、前年を下回った。

3. 生産

鉱工業生産

一部に弱めの動きがみられるものの、高めの水準で推移している。

—— 11月の大分税関支署管内の輸出額は、前年を上回った。

4. 雇用・所得

労働需給

改善の動きがみられている。

—— 11月の有効求人倍率（季節調整値）は、前月を上回った。12月短観における雇人員判断D.I.は「不足」超となっている。

雇用者所得

弱めの動きがみられている。

—— 10月の雇用者所得（1人当たり現金給与総額×常用労働者数）は、前年を下回った。

5. 物価

消費者物価	11月の消費者物価指数（大分市、生鮮食品を除く総合）の前年比は、▲0%台半ばとなっている。
-------	---

6. 金融

預金	増加している。 —— 実質預金残高（含む譲渡性預金、大分県内に本店を置く金融機関の合計、未残ベース）は、増加している。
貸出金	増加している。 —— 貸出残高（大分県内に本店を置く金融機関の合計、未残ベース）は、増加している。
貸出金利	低下傾向にある。 —— 貸出約定平均金利（総合・ストックベース、大分県内に本店を置く日本銀行の取引先金融機関の加重平均）は、低下傾向にある。
企業倒産	低めの水準で推移している。

<当店のホームページのご案内>

(当店ホームページのトップページ)

<https://www3.boj.or.jp/oita/index.html>

(大分県内の景気動向)

<https://www3.boj.or.jp/oita/kohyo/geppou.html>

(短観)

<https://www3.boj.or.jp/oita/kohyo/tankan.html>

(特別調査レポートのご案内)

https://www3.boj.or.jp/oita/kohyo/tokubetu_repo.html

(支店見学のご案内)

https://www3.boj.or.jp/oita/tennai_kengaku/kenngaku_annai.html

<当店が公表している特別調査レポートの一覧>

- [大分県における農業の現状と課題](#) (21年12月20日公表)
- [大分県における宇宙産業の現状と展望](#) (21年11月17日公表)
- [大分県におけるカーボンニュートラルに向けた取組み](#) (21年10月19日公表)
- [大分県における人口移動の特徴](#) (21年9月30日公表)
- [大分県内における再生可能エネルギーの利用拡大に向けた動き —地熱・温泉熱エネルギーを中心に—](#) (21年3月31日公表)
- [感染症拡大下でも底堅さを示す大分県の製造業](#) (20年11月18日公表)
- [大分県における観光業復活に向けた取組み](#) (20年10月23日公表)
- [新型コロナウイルスの感染拡大を受けた大分県民の消費行動の変化](#) (20年9月11日公表)
- [県内企業における人材の確保・育成に向けた取組み](#) (20年2月20日公表)
- [大分県の輸出構造と最近の動き](#) (19年11月1日公表)
- [大分県の企業立地](#) (19年10月25日公表)
- [大分県のインバウンド動向 —世界的スポーツイベントの開催を前に—](#) (19年7月31日公表)
- [大分県の地価動向](#) (19年6月21日公表)
- [大分県のインターネット消費](#) (19年4月1日公表)
- [大分県の人口減少の緩和に向けて](#) (18年11月28日公表)
- [大分県内のキャッシュレス決済に関する現状整理](#) (18年10月25日公表)

以 上